



The Weekly Journal of
Tokyo Rinkai West Rotary Club

東京臨海西ロータリークラブ

第2580地区(東分區)

Rotary ローターリーは
機会の扉を開く



クラブ会長ターゲット

「信頼関係を構築し、奉仕の機会を増やす」
"Build a trust and increase service opportunities"

2020-2021年度
東京臨海西ロータリークラブ会長

飯塚 憲貴



国際ロータリーテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」
"ROTARY OPENS OPPORTUNITIES"

2020-2021年度
国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

2021年1月15日[第51回]

創 立：2018年11月22日
会 長：飯塚 憲 貴
副 会 長：西野 充 英
幹 事：大 星 太 郎
会報委員長：伊 藤 宏 之

1月15日の卓話

「バギオ基金の生い立ち、背景、
そして現在」
当クラブ特別代表
東京臨海ロータリークラブ
齊藤 実様

1月8日の出席率

会員在籍者数	39名
会員出席者数	32名
会員欠席者数	7名
本日の出席率	82.0%

1月29日の卓話

職業奉仕フォーラム
職業奉仕委員長 平井修二様
卓話者 取締役 後藤純子様
(株)大江戸コンサルタント

《2020-2021年度オンライン例会 第50回例会報》

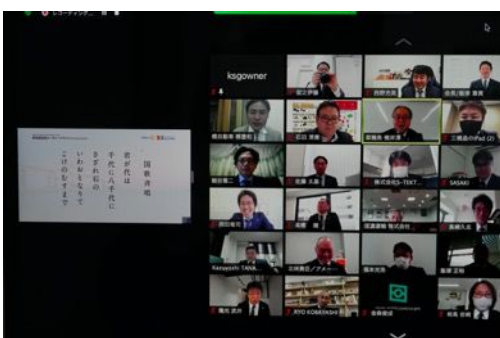
2021年1月8日(金)12:30~13:30

■点鐘：飯塚憲貴会長



(飯塚憲貴会長)

- 国歌「君が代」
- ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- 「四つのテスト」唱和
- 「ロータリーの目的」
東京臨海西 RC Ver. 唱和：西野副会長



■来賓・ゲストスピーカー紹介：飯塚憲貴会長

- 東京臨海西ロータリークラブ 特別代表
東京臨海ロータリークラブ 齊藤 実様
- 東京臨海西ロータリークラブ 発起人代表
東京臨海ロータリークラブ 鈴木 孝行様
- 米山奨学生 ヴァ ティ ミン様



(特別代表 齊藤実様)



(米山奨学生 ヴァ ティ ミン様)

■ビジター紹介：

本日はいらっしゃいませんでした

■会長報告・スピーチ：飯塚憲貴会長

「本来であれば本日初例会という事で、東武ホテルレバント東京さんと獅子舞などもお呼びして、新年のお祝いをするところだったのですが、昨年末からコロナの陽性者が急増して

いるという事、そして年を明けてからも予想以上に増えているという事を懸念しまして、緊急事態宣言が出る前からどうするか、議論をしていました。本当に早めに手を打って置いて良かったかなというのがありますが、少し判断が遅かった所もあったりして、結構悩みました。しかし、ただ例会を中止にするのではなく、オンライン例会を実施してみるということも大事ななと思い、今回このような試みをさせていただきました。皆様のご協力が無かったら出来ませんでしたので、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。この後、卓話で三役の挨拶がありますので、簡単にこれでスピーチを終わりたいと思います。」

●NPO 法人らいおんは一と様よりお礼状の報告

「お礼状と写真が届いております。私と大星幹事が参加して、わたしや大星幹事が子どもたちと食事をしたり、ボードゲームの贈呈の様子、サンタが来たり、一緒に楽しんで参りました。大変喜んでいましたので、ぜひ皆さんもお時間がある時は、らいおんは一とさんに伺い、活動を見ていただければと思います。」

●ヴェィ ミンさんへの奨学金お渡しとご挨拶

「皆さんこんにちは。改めまして新年明けましておめでとうございます。2021年は、皆さまにとって素晴らしい一年になりますよう、お祈りいたします。昨年中は大変お世話になりました。誠にありがとうございます。今年もよろしく願います。」



●職業奉仕月間について

「今月は職業奉仕月間になっております。五大奉仕の中で、なかなか難しい職業奉仕、やはり日本人であれば職業を通じて世の中に奉仕する事は大事ななと思っております。色々な奉仕の仕方があると思います。中学生の職場体験や、インターンシップなどの受け入れ先の会社さんも募集しておりますので、ぜひ皆さんの会社、まだまだ受け入れた事がないという会社さんあれば、ぜひ手をあげていただければと思います。もしくは皆さんの周りにある素晴らしい会社さんがあればおすすめしていただけると、職業奉仕だけではなく、社会奉仕にも繋がると思いますので、どうぞよろしく願います。」

■幹事報告：大星太郎幹事

- 1月のロータリーレートは1ドル104円です
- 本日、例会終了後理事役員会を行いますので、例会終了後そのままZOOMにてお願いします

●今年度下期会費の請求書と上期ニコニコ領収書を送付させていただきます

■1月お祝い：飯塚正裕親睦活動委員長

- ・会員誕生日 坂東会員、間野会員、佐藤会員
- ・奥様誕生日 継岩会員夫人
- ・結婚記念日 間野会員
- ・「誕生日の歌」を流しますのでおききください
- ・1分間スピーチ：坂東裕樹会員

「一昨年、臨海西ロータリークラブが発足して、一番最初の誕生日を祝っていただいたのが私です。あれからあっという間だなと、また歳とったのかと思います。そして皆さんこのコロナ禍で、非常に苦しい生活と仕事のやりづらさ、従業員の皆さんの手当とかも含めて、日々悩まれていると思います。もちろんワクチンだけではなく、明けない夜はないと思っていますので、なんとか皆さん団結して今年一年、良い一年になるように、がんばりましょう。ロータリーというのは仲間の絆だと思っています。臨海西RCの皆が協力しあいながら、まずは奉仕も大切ですが、我々が倒れてしまえば意味がない。1月の誕生日の坂東として皆さんに何とか元気になっていただけるように祈りながら。自分の誕生日ですが、今年一年間どうぞよろしく願います。」

尚、プレゼントはご自宅に発送済です
(1月7日到着予定)



(飯塚正裕親睦活動委員長)



(坂東裕樹会員)

■出席状況報告：島崎久志会員 ⇒詳細1頁バナー下の出席状況報告欄にて



(島崎久志会員)

■ニコニコBOX 報告：石田清貴会員

(ご意向) 本日は初めて ZOOM 例会に参加させていただきます。よろしくお願ひ致します：
齊藤実様(東京臨海 RC・当クラブ特別代表)

(ご意向) 明けましておめでとうございます。本日初例会ですが、コロナを鑑みて ZOOM となりました。皆様のご協力とご理解に感謝します。オンラインでも素晴らしい例会と思っただけできるよう努めます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します：
飯塚会長

(ご意向) 祝初りモート例会！残り半年になりました。飯塚会長頑張ってください：
栗山会員

西野副会長、大星幹事、伊藤会員、飯塚正裕会員
佐藤会員、岸会員、間野会員、岩崎会員
高橋会員、継岩会員、島崎会員、福本会員
武井会員、石田会員

【17件 65,000円 累計 1,594,110円】



(石田清貴会員)

■本日の卓話：年頭にあって三役挨拶 飯塚憲貴会長



●今年度のあいさつ

本日の卓話は、年頭に当たり、今年度のあいさつと下半期の抱負ということで、三役にて話をさせていただきます。当クラブ会長のわたくし飯塚、そして西野充英副会長、大星太郎幹事となっております。まずは私から。当クラブ今年度会長を務めております、飯塚から挨拶と抱負についてお話しさせていただきますと思います。

改めまして、皆さん、あけましておめでとうございます。どうぞ、今年もよろしくお願ひいたします。まず、昨年末から、コロナの陽性者が急増しました。政府の緊急事態宣言は昨日発令されましたが、それよりも先に対面の例会を中止として、Zoomによるオンライン例会にさせていただきました。こちらは、やはりロータリークラブ、そしてロータリアンの本質、特に経営者として模範となる姿勢や態度、そして行動を見せなければいけないはずなのに、やはりロータリアンが一つの会場に30人以上集まって、お酒がないにしろ一つ一つの会場に大人数が集まるのはどうなのかということ。それに対し、大変危機感を持ってアドバイスをしてくれました、西野副会長、大星幹事にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。そしてオンライン例会開催に、ご理解をいただきました、齊藤特別代表、鈴木発起人代表、そして栗山直前会長に、お礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

そして、急な例会の変更にもかかわらず、ご理解とご協力いただいております、東京臨海西ロータリークラブの会員の皆さんにも、本当に心から感謝申し上げます。本当に皆様のご協力がなかったら、多分、本日このような32名、出席率80%を超えるような例会が開催できませんでした。

私たちは第2580地区で最も新しいクラブです。これからの経営、そして時代を担っていかなければいけない存在だと思います。ですので、ただ前回みたいに、ただ例会を中止にするのではなく、こういうオンライン例会ができるぞ、というのを見せることも、大変大事かなと思っております。まだまだ最初なので、皆さんにご苦労やご迷惑掛けることも多々あると思いますが、毎回アップデートして、成長して、より良い例会を提供できるように頑張っていきたいと思っております。

●下半期の抱負

そして下半期の抱負です。そちらに関しては、やはり去年の2月から、このコロナ騒動が始まりました。ほとんどの方は、夏にはこの騒動は終わるだろう、という軽い気持ちでいた方も、本当に多いと思います。その予想を遥かに上回りました昨日は東京でも2,400人、日本全体でも4,400人を超える陽性反応者が出てしまいました。重症者も日々増えている状態です。ただの風邪とか、インフルエンザなどという方もいますが、まずは陽性者を出さない、広げない、そういうことが大事というところにも、やはり考えさせられております。

厚生労働省のホームページを見るとインフルエンザの患者数は1日70名ぐらいです。去年と比べると、とんでもなく少ない数字となっています。この数字を見て、多分皆さんいろんな考え方をされる方がいると思います。ただ間違いないのは、手洗い、消毒、うがい、そしてマスクをしたって、インフルエンザは減っていても、コロナ陽性反応者が増えているという事実は確実にあります。それだけ新型コロナというのは、やはり気を付けなければならないと思います。

テレビだけではなく、インターネット、雑誌、新聞、いろんな媒体があり、いろんな情報が流れています。どの情報を皆さんが得て、それを自分たちで判断して、どう行動するかというのは、やはり皆さん自身の考え方や判断力に委ねられることも多々あります。

問題なのは、20代、30代の方は、どうしてもテレビ離れがあって、テレビの言っていることは全部うそだと思っている方、そして、ネットの方を信じて騒ぐほどない病気だという

ことで、年末年始動いてしまった結果が、このような陽性者急増になっています。

やはり経営者として、情報をたくさん集めて、今何をすべきか、良い悪いや、正義など、価値観というのは、まず各自で全然違います。自分が正しいと思っていることを他人に押し付けると、いろんな争いがありますし、いろんな歪みが生じてきます。今のその歪みが、軽く見ている人と、しっかりとした考え方をしている方の歪みが、コロナの陽性者の急増につながっていると思います。やはり、緊急事態宣言中、皆さん自身もいろいろ行動を考えて、感染者が減るように皆で努力して、周囲の方には声掛けをして協力をしていくべきと思っています。

今年はこれを乗り越えていかないと、ロータリークラブだけでなく、社会、経済、様々なことに影響してくると思いますので、ぜひ皆で考えていきたいと思っています。

さて、今期が始まったときは32名だった東京臨海西ロータリークラブの会員が、今月2021年1月に39名になっております。そして、もう一名増やせば、今季の目標の40名になります。

2月19日には、新入会員歓迎会を予定しております。ロータリアンとなって、皆さんと会う機会を増やして、知り合いを増やして、奉仕の機会を増やしていきたいと思っています。そのためにも、世の中全体が落ち着いていかなければ、当クラブの会員全員が顔を合わせて会うことが実現できません。そのためにも、親睦を図るためにも、早く世の中が落ち着いてくれることを祈っております。

このコロナを乗り越え、当クラブ今40名を目指しております。それを上回ってコロナ禍でも負けず、45名に増やして、そして自然とお互い会員同士が、ただ人数を増やすだけではなく、信頼関係を育て、いろんな仕事、事業、職業奉仕、社会奉仕がみんなのできるような、そんな関係を作っていく下地をつくります。そして、7月に次年度会長の西野さんにバトンを渡していきたいと思っています。

みんなでアイデアを出し合っているいいクラブにしていきたいと思っています。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。以上、会長からのあいさつと下半期の抱負として、お話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

西野充英副会長



皆さま改めまして、あけましておめでとうございます。

今年も何とぞよろしくお願いいたします。

新年の年頭に当たるということで、今年度下半期についてのことを少しお話ししたいと思います。今日は、本当に東京臨海西ロータリークラブ初のオンラインということで、残りの半期もこういうことが行われるかもしれませんが、引き続

き我々ができることを、奉仕を含めてやっていきたいと思えます。そしてクラブの輪を広げて、皆さまと、楽しいロータリーライフを作っていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

今期、私が掲げるものとしましては2点考えております。

1点目は、クラブ奉仕委員長も兼務しておりますので、当分通常例会がないかもしれませんが、新入会員の皆さまにとっては、例会場でたまに一人でぼつんとされている方もお見かけしますので、そういうことがないように、チャーターメンバーの皆さまと共に、そしてカウンセラー、そして紹介者がもう少し関わることができるような環境っていうのが必要。それをつくっていきたいなと思っています。

次年度はカウンセラーの組織も立ち上げていきたいと思っています。今たくさんのお新入会員の方が入ってきていただいておりますので、その方たちに早く馴染んでいただいて、我々と一緒の方向を向いていただくような形の組織作りにも邁進してまいります。

そして2点目ですが、これは飯塚会長が先ほどおっしゃっていただきました、7月以降の次年度の組織づくりのところでございます。前回、役員と理事のご紹介をさせていただきました、また、五大奉仕委員長をはじめとする、各委員のメンバーの構成、それから先ほど言いました新しいクラブの役割、機能を追加するということが、私の下期、副会長としての役割なのかなと考えております。

ロータリーの組織は1年で任期となります。運営としてもそうなのですが、今年度、皆さまがやられている役割とは、また違う役割をお願いすることがあるかと思えます。何卒、そのときはご理解をいただきまして、ご協力いただければと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。これを持ちまして、私のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

大星太郎幹事



改めまして、あけましておめでとうございます。

半年間の振り返りと、今年の抱負を2~3分話させていただきます。まず、ようやく幹事になって半年がたちました。まずは、昨年、慣れない幹事で事務局をはじめ皆さまにいろいろご迷惑をお掛けしたと思えます。そのお詫びと、それにもかかわらず、いろいろご協力をいただいたことのお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。半年経ってみて、ようやく幹事の仕事にも慣れてきたというような実感がございます。とはいっても、まだまだ先代の西野幹事が、あまりにも偉大過ぎたので、まだそこまでは及びませんが、そ

れでも今まで例会の準備等で毎日ストレスを感じていたものが、ようやく当たり前の自分の生活の一部となってきているのは実感しているところでございます。

ストレスなく幹事ができるようになった要因の一つとして、確かに仕事に慣れたのも一つですが、1番大きかったのは、皆さんとの親睦が半年前に比べて大幅に深まったからじゃないかと考えております。思い返すと半年前は、例えば、飯塚会長や西野副会長に相談するときでさえ、電話するのも電話かけちゃっていいのかなとか、こんな相談したらがっかりされないかなみたいなことを気にしながら、萎縮しながら進めていたような気がします。だから、そんな状態では当然のことながら、うまく事は進みませんでした。

今は、本当に気兼ねなく相談もできますし、逆に意見もできるようになりました。これは明らかに親睦が深まった成果なのかなと考えております。また、皆さまに連絡する際も、最初はどきどきしながら電話だとかLINEを送っていましたが、今は逆に電話するのも楽しみになっているくらいになっています。

これも飲み会やら、いろんなイベントでの親睦の成果だと考えております。こういった親睦というのは、もちろん幹事をするうえでも必要ですが、それ以上に感じているのは、今まで敷居が高かったロータリー活動を、親睦を深めることによって、よりハードルを低くして、やりやすいものにできるのかなと思っています。

今年一年は、幹事どうこうではなく、もっともっと親睦を深めることによって、いろんなロータリーの活動に積極的に参加して、有意義なロータリー活動が送ればいいなと考えております。どうぞ昨年以上に仲良く、親睦を深めていただければと思います。今年一年も、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

■4名ずつに別れてのグループディスカッション
※約5分間ブレイクアウトルームにて行いました



■ 点鐘：飯塚憲貴会長